

研修企画書

岡本文宏 メンタルチャージ ISC 研究所
電話 078-763-8151 ・ 090-5961-0138
E メール okamoto@cvsfc.com

【タイトル】

どんな時代でも強い店を創り出す！

『店長力』の磨き方

【参加者が得られるメリット】

- 現場での人材マネジメントの具体的なやり方が分かる。
- 店長・SVが手に入れておかなければならない最重要のスキルを体得できる。
- ワークを通じて、学んだノウハウを現場ですぐに活用できる。

【コンセプト・概要】

経済状況、政府政策などの経営環境の変化に柔軟に対応し、現場のリーダー、組織の長として店スタッフを率い、店を発展させていくためには、マネージャー（店長・SV）として入手しておかなければならない必須スキルの習得は欠かせません。

この研修では、店舗経営の核ともいえるマネジメント力、リーダーシップ力を磨くノウハウの伝授を行い、『店長力』を高めることを目指します。講義と同時にグループワーク、個人ワークを行うため、スキルを知るだけにとどまらず、現場に戻り、すぐにスキルを活用することが可能となります。お伝えするノウハウが、参加者の方々の「強い店・組織創り」の一助になれば幸いです。

【内容】

第1回目 コミュニケーション力を磨く

1. 目標確認
2. マネジメントに欠かせない『伝える』スキルを手に入れる
 - (1) なぜ、伝わらないのか？
 - (2) 伝える達人になるための5つの方法
3. 『面談マネジメント』の凄い威力を知る
4. コミュニケーションの基本を習得する
 - (1) 話を聴くスキル強化トレーニング ～【ワーク】聴いている姿をしてみる！～
 - (2) 一瞬で聴き上手になるテクニックを習得する
5. マネジメントに欠かせない質問のスキル

第2回目 まかせる力を磨く

1. なぜ、任せるマネジメントが必要なのか？
2. 任せることの5つのメリット
3. 任せる技術を高める
 - (1) まかせる前のコツ ～まかせる相手を見定める～
 - (2) まかせる時のコツ ～ツールを使ってまかせる～
 - (3) まかせた後のコツ ～ナレ、ダレからくる崩れを排除する～
4. どうしても任せられない人への対応 ～70点で合格と捉える～

第3回目 できる人材を揃える力を磨く

1. やってはいけない採用！ ～陥りがちな求人・採用の罠～
2. 初めから『共感』している人だけを採用
3. できる人材だけが集まる求人広告の作り方
 - (1) どんな人を採用したいのか言えますか？
 - (2) 採用前後に感じるギャップを「0」に近づける
 - (3) どんな店なのかを魅力的に説明できますか？
 - (4) 働くことで得られるメリットは？
 - (5) 伝えておくべき2つの声
 - (6) 求人広告作成の裏ワザ公開！
 - (7) 求人広告を作ってみる 【ワーク】
4. 採用力が一気に上がる『クロスメディア・リクルーティング』のやり方
5. できる人材だけを「見抜く目」の養い方 ～失敗しない採用面接の極意を知る～

第4回目 育てる力を磨く

1. やる気と定着率が同時に上がる「入社初日」の過ごし方

- (1) 入社初日にやってはいけない3つのこと
 - (2) 入社初日に第一印象をぐっと引き上げる技
 - (3) 最高の入社初日を迎える企画を作る 【ワーク】
2. 新人を完璧に教育する3つのツール
 3. スタッフがさらに伸びる「褒め方」
 4. やる気が上がる「叱り方」の極意
 5. 「この人に付いていきたい！」と思えるリーダーになるための条件

第5回 売る力を育てる

1. 『共感』され『愛』される店になる条件
2. 愛され共感されるメリット
3. 愛され共感される店を作り出す仕掛け
 - (1) お客様からもっと愛されるイベントを企画する
～開業記念日にお客様から160個のお祝を受け取った居酒屋～ 【ワーク】
 - (2) お客様から共感される 店内POP、チラシの作り方
 - (3) お客様から100%返信が来る ファンを生み出すメルマガ、SNSの活用法
4. 『共感』され『愛』される店には自然に人（お客もスタッフも）が集まります！

第6回 成果発表

- ・参加者各自による研修を受講し、現場で実践した結果、成果を発表します。
- ・グループディスカッションにて問題点を洗い出し、討議し解決策を見つけ出します。

所要時間 1回 120～180分程度（ご要望時間に調整可能）

参加特典 講師執筆の経営情報誌・当日使用スライド（PDF版）を希望者に進呈

研修テキスト

オリジナルのレジュメを作成いたします。また、サブテキストとして『仕事をまかせるシンプルな方法』『繁盛店のやる気の育て方』著者 岡本文宏（推奨書籍）の使用をお勧めします。

※ サブテキストを使用することで、研修で学んだことの再確認が容易となり、成果が飛躍的にアップします。

研修後フォロー

ご希望により研修終了後にフォローアップ研修の実施も可能です。

現場で実践を重ねる中で抱えた悩み、問題を解決する機会にご活用ください。